

## 宙玉写真を作ろう

カメラレンズの先に、「宙玉（そらだま）」というビー玉状のものを付けると、変わった写真が撮れます。ワードと、一部 PictBear を使って、ふつうの写真から宙玉写真を作ってみましょう。

### 1. 準備

①材料となる写真を、用意します。

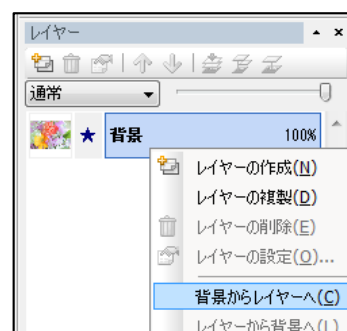
風景でも、花や動物でも、だいたい何でも OK。手持ちの写真でも、ネット上から探してきたものでもかまいません。



②PictBear を起動し、①で用意した写真を開きます。

③必要に応じて、トリミングします。

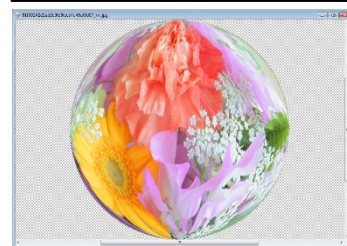
④レイヤーウィンドウの「背景」を右クリック→「背景からレイヤーへ」。



⑤「フィルタ」メニュー→「変形」→「球」で、球状に変形します。

※「変形」フィルターが見つからないときは、インストラクターを呼んでください。

⑥「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」で、**PNG 形式**で保存します。



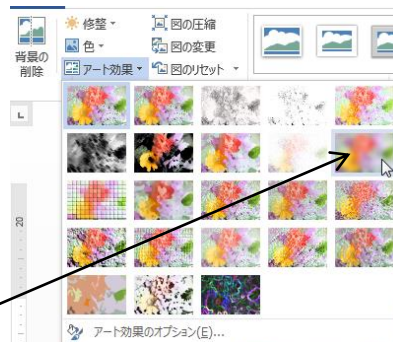
### 2. 背景

①ワードを起動し、新規文書を開きます。用意した写真が横長の場合は、「ページレイアウト」タブ→「印刷の向き」→「横向き」にしておくといいいでしょう。

②1の①で用意した写真を、挿入。

③「書式」タブ→「回転」→「右へ 90°回転」。もう 1 回「右へ 90°回転」させて、逆さまにします。

④「書式」タブ→「アート効果」→「ぼかし」で、写真をぼかします。



[ぼかしの強度を上げたいときは…]

- ①ぼかした写真をコピー→「ファイル」タブ→「貼り付け」のオプション→「図」。
- ②元の写真は、削除して OK。
- ③①で貼り付けた写真を選択して、「書式」タブ→「アート効果」→「ぼかし」。

上記①～③をくり返せば、ぼかしの強度を上げることができます。

「めんどくさい。一気に強くぼかしたい」というときは、PictBear の「フィルタ」メニュー→「ぼかし」を使ってください。

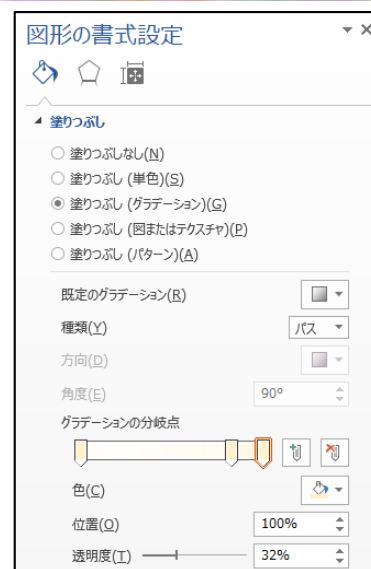
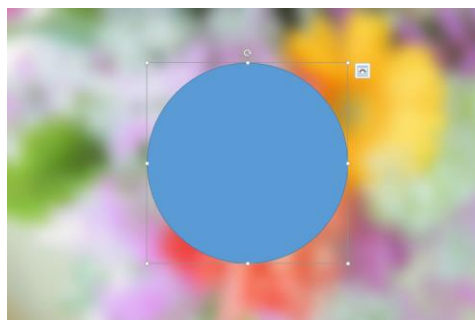
### 3. 球状写真の挿入

- ① 1 の⑥で保存した球状写真を、挿入します。
- ②大きさを半分程度に縮小して、背景の中央に配置。
- ③「書式」タブ→「図の効果」→「ぼかし」で、球状写真の周辺を、少しぼかしましょう。



### 4. ガラス風フィルター

- ①「挿入」タブ→「図形」→「円/楕円」で、球状写真と重なるように、正円を描きます。(Shift キーを押しながらドラッグすると、正円になります。)
- ②円の枠線は「なし」に。
- ③「書式」タブ→「図形のスタイル」のダイアログボックスランチャーをクリックして、「図の書式設定」ウィンドウを開きます。
- ④円の塗りつぶしは、グラデーションを選びます。「種類」を「パス」に設定、色はお好み（薄い色）で、「中心は透明度 100%、周辺近くで透明度が 70%程度になり、外周部分で透明度が 30%」となるように設定してください。
- ⑤「図の効果」→「ぼかし」で、周辺を数 pt ぼかします。



いろんな写真で、試してみ  
ましょう。

